

主管部局 施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営

市税等納付コールセンター事業	現年度課税の滞納整理を強化し徴収率の向上及び累積滞納を防止し、安定した財源確保を図るため、現年度課税分に特化し電話や文書等による催告業務を民間委託により行います。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
税制課	4,576		4,509		1,411	4,583	0	4,583
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
電話催告件数(件)	7,746	8,330	-	催告後2か月以内に納付された件数(件)		4,469	4,815	-
文書催告件数(件)	4,398	4,832	-	現年度課税の徴収率(%) (参考値)		99.49	99.58	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 現年分の滞納者に電話催告や口座振替の勧奨を行いました。				・現状 人口増加に伴い、滞納者数も増加しています。				
・評価 収納率の向上はみられましたが、更なる事務の効率化が必要と考えます。				・課題 現状の税制課業務の一部を更に業務委託に追加し、事務の効率化を図る必要があると考えます。				
・課題に対する改善点 業務委託の先進市での視察や情報の収集に努めました。				・取組 委託業務の仕様を見直し、今年度中に次期契約を締結します。				

資産活用

ファシリティマネジメント事務管理事業	各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図ります。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
財産活用課	672		411		30,610	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
ファシリティマネジメント施策の実施件数(件)	30	26	-	ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)		10,237	7,194	-
改修等営繕に係る設計・監督実施件数(件)	25	24	-					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 各施設所管課における個別施設計画の見直しに必要なマニュアルを作成したほか、営繕業務を行いました。				・現状 各種FM事業を継続的に実施し、市の資産を十分に活用していく他、公共施設の改修を行うことで、維持管理と長寿命化を図っていきます。また令和6年度より政策事業から経常事業に変更したことにより、事業名もファシリティマネジメント推進事業からファシリティマネジメント事務管理事業へ変更しました。				
・評価 各種ファシリティマネジメント施策を予定通り実施したほか、予定された営繕工事を実施しました。				・課題 個別施設計画の見直しに必要な劣化度調査は、技師による統一された基準を元に行う必要があります。				
・課題に対する改善点 学校施設と市営住宅を除く公共施設の個別施設計画における総合評価ランクの見直しについて、具体的な取り組み方針を決定しました。				・取組 個別施設計画における簡易劣化調査の実施及び施設所管課から依頼のあった営繕工事を実施します。				

資産活用

本庁舎施設管理計画事業		本庁舎が老朽化していることから、長寿命化を図るものです。また、劣化が著しい設備等を改修し、災害時の活動拠点となる本庁舎を良好な状態に保ちます。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
財産活用課	42,431	22,399		16,506	11,000	8,200	2,800
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
改修にかかる費用(千円)	7,788	22,399	11,000	改修等必要箇所数(件)	2	2	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 本庁舎自動火災報知機設備の更新工事を行ったほか、令和4年度に施工した市役所付近の建物解体後の法面に擁壁を設置するための設計業務委託を行いました。				・現状 市役所付近の建物解体後の法面コンクリートがむき出しになっています。			
・評価 これまで更新していなかった自動火災報知機を更新し安全対策を講じることが出来ました。				・課題 法面が崩れないようにする必要があります。			
・課題に対する改善点 建設以来更新されていなかった自動火災報知機を更新し、安全対策を講じることが出来ました。また、令和4年度に施工した市役所付近他店の解体後の法面について、安全性の配慮及び景観向上のため、擁壁工事を行うための設計業務委託を行いました。本設計に基づき、令和6年度に擁壁工事を行います。				・取組 安全対策及び周辺環境に配慮するため法面に擁壁を設置します。			

資産活用

通訳タブレット導入事業		南流山出張所及び江戸川台駅前出張所に外国語及び手話(日本語)通訳タブレットを配備し、インターネットを通して通訳士と会話形式または手話形式で通訳を行うことで、円滑かつ快適な窓口サービスを提供します。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
市民課	317	291		0	317	0	317
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
来庁した外国人等の人数(人)	461	467	471	通訳タブレットを使用した外国人等の人数(人)	189	160	161
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 利用者のニーズを確認し、設置台数の見直しについて随時検討しました。				・現状 通訳タブレットの賃貸借契約については、令和4年6月から令和7年5月の履行期間で、江戸川台駅前出張所、南流山出張所に1台ずつタブレットを設置し、適切に運用できています。			
・評価 利用者の平均通話時間は約7分で、利用に際し台数が足りないということはなく、設置台数は適切であったと考えます。				・課題 令和7年5月でタブレットの賃貸借契約の履行期間が満了となるため、新たな契約について、仕様の見直しが必要です。			
・課題に対する改善点 設置台数の検討を課題にあげましたが、適切であったと考えます。				・取組 令和7年6月からの新たな契約について、適切な仕様書の作成、予算策定を行います。			

組織・人材

職員研修事業		職員一人ひとりの資質の向上や専門知識の習得を図るため、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として政策自主研修を行う職員に研修助成し、意欲のある職員を育成します。					
担当課	R5当初予算	R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
人材育成課	22,362	19,994		3,526	23,605	316	23,289
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
集合研修実施件数(件)	27	26	28	職員自主研修助成者数(人)	21	25	27
				派遣研修派遣職員数(人)	64	71	77
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスの更なる向上を図るため、研修計画に基づく研修を実施しました。令和5年度の新たな研修として、円滑かつ効率的・効果的に仕事を進めるための論理的思考について学ぶ「ロジカルシンキング研修」を実施しました。				・現状 引き続き、職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスの更なる向上を図るため、人材育成基本方針に従い、職員研修事業を進めます。			
・評価 事前の準備及び事後の確認を適切に行い、人材育成基本方針に基づく研修を実施できたものと評価します。				・課題 職員のキャリア形成を支援するため、中長期におけるスキルアップが見込めるような研修を計画します。			
・課題に対する改善点 研修後のアンケートの内容を活かし、研修内容の充実に努めました。				・取組 モチベーションの向上を図りつつ、階層別研修に限らず、それぞれの職における役割を意識付けできるように、より効果的な時期に適切な研修を計画的に実施していきます。			

組織・人材

政策法務推進事業	政策法務推進計画に従い、政策法務研修計画に基づく研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務の実施により政策法務を推進します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
総務課	3,904		3,717		7,758	6,694	0	6,694
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
研修受講者数(人)	118	133	140	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数(人)		170	194	211
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>知識の定着状況等、研修の効果を確認しながら、より効果的な研修となるよう創意工夫して実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善については、担当課にて対応しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>自治体法務検定の政策法務編におけるシルバークラス以上取得者が過去最高人数であり、効果的な研修が実施できました。</p>				<p>・課題</p> <p>行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善を早期かつ確実に実施する必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>政策法務室による自治体法務検定の模擬試験を実施したことにより、職員の知識の定着を図り、政策法務への意識を高めることができました。</p>				<p>・取組</p> <p>行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善対応について、政策法務室が担当課と協同することにより、行政リーガル・ドック事業における改善を徹底していきます。</p>				

行政経営

広聴活動事業	書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。頂戴した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
秘書広報課	14,677		13,454		11,989	17,165	0	17,165
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
タウンミーティング開催回数(回)	11	9	9	市に意見を言える機会に満足している市民の割合(%)		82.6	84.5	85.0
				住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合(%)		80.7	81.2	85.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>地区別タウンミーティングを東西南北の4地区で開催、オンラインタウンミーティングを7月と3月に開催(年2回)、無作為抽出型タウンミーティングを1月に開催(年1回)しました。</p>				<p>・現状</p> <p>引き続き、市議会との間の日程など、市の幹部職員の日程調整を行い、市民が直接幹部職員に意見を言える機会を創出していきます。</p>				
<p>・評価</p> <p>無作為抽出型タウンミーティングについて、定員20名に対しこれを上回る応募があったため、参加できない方がいました。一方でオンラインタウンミーティングでは、8名の定員に対し応募者が十分に集まりませんでした。</p>				<p>・課題</p> <p>令和6年度は、応募者が多かった無作為抽出型タウンミーティングを年1回から2回へ、応募者が少なかったオンラインタウンミーティングを年2回から1回へ変更するなど、開催回数を市民ニーズに合わせ変更していく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>地区別タウンミーティングのうち中部地区は、従来、おおたかの森センターで開催していましたが、令和5年度は新設中学校であるおおぐろの森中学校の多目的ホールで開催しました。</p>				<p>・取組</p> <p>引き続き、地区別タウンミーティングは、東西南北の4地区で開催を予定しています。一方で、無作為抽出型タウンミーティングは年1回から2回へ、応募者が少なかったオンラインタウンミーティングは年2回から1回へ開催回数を変更する予定です。</p>				

行政経営

見やすく分かりやすいホームページ運営事業	市の公式ホームページについて、CMS(コンテンツマネジメントシステム)を利用した管理・運営を行い、「見やすく」「探しやすい」情報提供を行うことで、流山市民はもとより市外の方や企業の方にも流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
秘書広報課	4,582		4,582		3,526	4,582	2,000	2,582
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
職員研修(回)	2	2	2	市ホームページの月平均ページビュー数(回)		1,063,012	996,431	1,000,000
				ページ内アンケートで、ページ内容に「問題ない」と答えた人の割合(%)		36.48	33.36	40.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>目的ページに到達しやすくするため、不要なページの削除やサイト構成について、適宜見直しを行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>ページ内アンケートで18.37パーセントの方が、ページ内容について「要点が伝わらない」と回答しました。</p>				
<p>・評価</p> <p>ウェブアクセシビリティに配慮したページになるよう、ページデザインを工夫することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>市ホームページを訪れた方が、必要な情報を適切に取得できるようにする必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>リンク切れが生じないよう定期的に確認しました。</p>				<p>・取組</p> <p>職員研修を行い、各課で作るページの内容をより分かりやすいものにします。また、目的ページに到達しやすくするため、不要なページの削除やサイト構成について、適宜見直しを行います。</p>				

行政経営								
広報発行事業		広報ながれやま（月3回。年間37回のうち4回は特集号、年1回の号外特集号）をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布（新聞折り込みや宅配など）します。また、市ホームページや携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ（マスメディアへの情報提供）などを通じて市政情報を広く発信します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
秘書広報課	46,235		45,305		21,156	50,308	0	50,308
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
職員研修(回)	2	2	2	「マチイロ」の登録件数(件)		10,507	12,665	14,500
				広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合(%)		85.6	85.9	90.0
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 マチイロや市LINE公式アカウントを多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行いました。				・現状 マチイロや市LINE公式アカウントの登録件数が順調に増加しています。				
・評価 マチイロの登録者数が全体で約2,000件増えましたが、30歳代、40歳代は微増にとどまりました。				・課題 30歳代、40歳代以外のマチイロ登録件数が少ない状況です。				
・課題に対する改善点 マチイロや市LINE公式アカウントを広報紙で周知するようにしました。				・取組 引き続き、マチイロや市LINE公式アカウントを多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行います。				

行政経営								
TX沿線整備地区の字の区域の名称変更事業		つくばエクスプレス沿線整備地区で進められている土地区画整理事業の換地処分に合わせ、当該地区の字の区域及び名称の変更を行います。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
総務課	13,445		13,445		7,052	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
字変更業務の進捗状況(%)	19	100	-					
住所変更証明書発行件数(TX沿線整備地区)(件)	266	403	-					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 木地区について令和5年9月29日に換地処分が行われ、これに合わせて字の区域及び名称の変更を行い、住所変更通知書の作成等の業務を実施しました。				・現状 令和5年度で事業は終了しました。				
・評価 関係機関との連絡調整を綿密に行い、遅滞なく業務を遂行することができました。また、ホームページや住所変更手続きの手引きの掲載内容を充実させたことで、問い合わせ数が従来より減少し、分かりやすいご案内をすることができました。				・課題 令和5年度で事業は終了しました。				
・課題に対する改善点 ホームページにおいて早めの周知を行いました。また、住所変更手続きの手引きの掲載内容の見直しを行いました。				・取組 令和5年度で事業は終了しました。				

行政経営								
市民向け電子化事業		市民の方が自宅のパソコン等から行政手続きや情報取得ができる環境を整備します。また、令和4年度からLINEを活用して利用者の希望する情報を提供するセグメント配信や自動会話プログラム「チャットボット」などのサービスを提供しています。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
情報政策・改革改善課	10,159		26,268		13,399	14,256	1	14,255
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
電子申請手続き数(件)	181	250	275	電子申請利用件数(件)		21,299	19,415	30,000
LINEによるセグメント配信件数(件)	430	924	1,400	LINE登録者数(人)		14,141	19,592	24,000
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 流山市LINE公式アカウントサービスの活用を促進し、市民の皆様の利便性を向上するとともに、オンラインで手続きが行える「びったりサービス」や「電子申請」の対象手続きを拡大しました。				・現状 電子申請システムやLINE公式アカウントの利用環境を整備し、利便性の高いものとし、利用者を拡大する必要があります。				
・評価 「電子申請」の申請手続は目標以上に増加できたほか、利用件数では、新型コロナウイルスの接種券発行で前年度8,445件であったものが、令和5年度は1,750件になったことにより、全体の件数が減少していますが、当該結果を除くと利用件数も増加しました。				・課題 関係部署や開発事業者との協議によりシステムの改修や運用の構築を円滑に進める必要があります。また、市民の方への周知を行い、利用者を拡大する必要があります。				
・課題に対する改善点 オンラインで申請できる手続きの一層の拡充に努めました。				・取組 「行かない窓口」実現のため、電子申請システムの改修を行うほか、LINE公式アカウントの機能において市民の利便性を高めるための更なる活用を進めていきます。				

行政経営								
全庁LAN整備事業		職員利用のパソコン・プリンタ・通信機器、ファイルサーバ・グループウェア・統合型GIS等の各システム、ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティ対策を実施します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
情報政策・改革改善課	277,872		271,634		23,977	313,964	26,366	287,598
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
全庁LANパソコン整備台数(台)	1,224	1,275	1,300	整備に対する全庁LANパソコン不足台数(台)		-	-	-
自治体セキュリティクラウドマルウェア等検知件数(件)	43,636	207,283	220,000	ウイルス感染件数(件)		-	-	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 情報システムの標準化では、機能の選定や業務フローの見直し、令和7年度末までの移行に向けて準備をしました。また、老朽化している庁内パソコンについては、350台を更新しました。特定個人情報保護評価書の「住民基本台帳に関する事務」が対象人数が30万人となる見込みから、パブリックコメント及び外部機関によるセキュリティ監査を実施しました。				・現状 情報システムの標準化については、令和7年度に国が策定した仕様書へ準拠したシステムを、国のクラウド環境へ移行させる必要があります。またランサムウェア等のウイルスメールの検知件数が増加しています。				
・評価 情報システムの標準化については、各課との検討部会を設置し、令和7年度末までの国のクラウド環境への移行に向けて準備をしました。また、老朽化している庁内パソコンは350台を更新しました。特定個人情報保護評価書の「住民基本台帳に関する事務」についてパブリックコメント及び外部機関によるセキュリティ監査を実施し、全項目評価を実施しました。				・課題 情報システムの標準化については円滑な移行に向け、システム事業者間との調整やスケジュール管理及びコスト管理が課題です。庁内パソコンは引き続きOSやOfficeのサポート期限を考慮したリプレースが必要です。また、ウイルスメールの検知件数が増加しており、引き続き訓練や最新のインシデント事例を踏まえた研修等の情報セキュリティ対策が必要です。				
・課題に対する改善点 情報システムの標準化については円滑な移行に向け、プロジェクト管理やスケジュール管理及びコスト管理が課題となっていたため、検討部会で関係部署へのヒアリング及び説明を行った結果、円滑に予算計上等を行うことができました。				・取組 情報システムの標準化では、引き続き機能の選定や業務フローの見直し、データ連携について検討し、令和7年度末までの移行に向けて準備を行い、国のクラウド環境へデータを移行する前に、特定個人情報保護評価書の手続きを行います。また、老朽化しているパソコンは、300台更新します。				

行政経営								
インターネット議会中継システム事業		流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有化を図ります。併せて、手話同時通訳中継を行い、より分かりやすく市民に開かれた市議会を目指します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
議会事務局	6,483		6,073		7,052	6,433	0	6,433
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
インターネット配信回数(回)	24	25	24	インターネット配信閲覧者延人数 ライブ中継(人)		26,388	30,733	27,000
				インターネット配信閲覧者延人数 録画中継(人)		3,344	8,115	3,400
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 安定したインターネット中継を実施し、引き続き手話同時通訳の同時中継を継続しました。インターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、さらなる周知に努めました。				・現状 本会議の様子をインターネット中継し、広く市民の皆様には議会の様子を伝えていきます。本会議の手話同時通訳をインターネットで同時中継することで、より多くの方々に議会の様子をお伝えします。なお、成果指標については、令和5年度は定例会のほか改選に伴う臨時会があったことを考慮し、令和6年度の目標値を低く設定しています。				
・評価 導入から4年目となった手話同時通訳も大変好評をいただいております。評価すべき取り組みと考えます。インターネット配信のライブ中継及び録画中継の視聴者が昨年度と比較して増加しているのは、改選や陳情など大きな案件が関係しているものと分析しています。				・課題 今後も引き続き適切に運用・保守し、安定した配信環境を整える必要があります。				
・課題に対する改善点 市議会ホームページや市議会だよりにおける告知や、SNSによる発信など、PRに努めた結果、インターネット配信のライブ中継及び録画中継の閲覧者数が増加しました。				・取組 引き続き安定したインターネット中継を実施し、手話同時通訳の同時中継を継続します。より多くの方にインターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、さらなる周知に努めます。				

行政経営								
議会ICT推進事業		流山市議会ICT推進基本計画に基づき、市議会ホームページの充実とセキュリティの向上を図り、オープンデータの活用を継続することによって、より一層市民に開かれた市議会を目指します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
議会事務局	3,060		2,365		5,642	3,089	0	3,089
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
Facebookコラム掲載数(回)	12	12	12	流山市議会ICT推進基本計画に基づく実施計画事業数に対する実施事業割合(%)		84.48	91.67	99.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 議会のICT化とペーパーレス化を推進するため、議員にタブレットを配付し活用を推進しました。				・現状 独自ドメインを取得していることから、市議会の情報発信を議会独自に迅速に行っています。また、暗号化の更新手続きを行い、セキュリティ確保に努めています。さらに、市議会データの活用を図るため、オープンデータの掲載を行っています。				
・評価 各議員へアンケートを行い、タブレット上のデータ確認のみで可能である会議資料について、紙媒体の資料を削減しました。				・課題 さらなるICT化とペーパーレス化を推進する必要があります。				
・課題に対する改善点 議会を身近に感じてもらうため、SNSの市議会公式アカウントを活用し、タイムリーな情報発信に努めました。				・取組 利用者によりタブレットやアプリケーションの習熟度に差があることから、議員全体向けの研修会を再度実施するほか、必要に応じて個別に利用方法を説明します。				

行政経営

キャッシュレス決済導入事業	市民課、出張所の窓口でキャッシュレス決済を導入し、窓口利用者の支払方法の選択肢を増やし、利便性の向上を図ります。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
市民課	4,042		4,042		2,116	2,343	0	2,343
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
キャッシュレス決済の利用件数(件)	-	9,885	20,000	キャッシュレスサービスアンケート満足度(5段階評価)		-	4.7	4.8
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	情報政策・改革改善課の協力のもと、プロポーザル方式により業者選定し、職員研修を経て令和5年10月から運用開始しました。			・現状 キャッシュレス決済端末は各出張所に1台ずつ、本庁に2台設置しています。				
・評価	令和5年10月の利用率は8.86%でしたが、令和6年3月の利用率は14.61%と利用率は増加しています。			・課題 利用状況を踏まえ、設置台数の見直しについて、検討が必要です。				
・課題に対する改善点	職員教育を課題にあげましたが、契約業者による研修や、電話でのサポートにより、適切に運用できています。			・取組 利用状況を注視し、適切な設置台数について検討します。				

行政経営

新川耕地地区の字の区域及び名称変更事業	大規模な市街化区域編入に伴い、字の区域及び名称の変更を実施することで、地域の価値を高めて魅力のある街づくりを推進します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
総務課	0		0		0	7,319	0	7,319
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
字変更業務の進捗状況(%)	-	-	100					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・現状 新川耕地地区のうち市街化区域に編入された区域について、令和6年度中に字の区域及び名称の変更を実施します。				
・評価	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・課題 対象区域の事業者の方が、所在地の変更に関する手続きを滞りなく行えるよう、分かりやすいご案内が必要となります。				
・課題に対する改善点	令和5年度は事業の実施がありませんでした。			・取組 魅力ある街づくりのために、地域の特性を表した名称に変更をします。また、対象区域の事業者の皆様へ、新しい所在地や変更に伴う手続きについて、適切な時期にお知らせします。				

マーケティング

流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業	「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るための情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
マーケティング課	12,867		10,034		7,052	15,772	3,300	12,472
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
市ブランディングサイト新規訪問者数(人)	15,070	22,295	23,000	転入者数(1/1~12/31)(人)		13,147	12,616	-
				イベント来場者数(人)		84,300	104,800	104,800
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組	流山市ブランディングプランに基づき、流山市ブランディングサイト「ながれやまStyle」への誘引を中心とした市ブランディング業務を推進しました。また、ブランド資源の発掘やブランドを体験するタッチポイントの創出などを検討していき、相乗効果を上げながら流山市ブランドを構築するよう努めました。			・現状 令和4年度に実施したブランド認知度調査では、メディアや身の回りの方からの情報により認知度が上がっていることがうかがえたため、引き続き流山市ブランディングサイトを起点とした、WEB広告等のPRを実施します。				
・評価	流山市ブランディングサイトを起点としたPRを実施し、新規閲覧者が22,000アクセスを超え、目標を達成することが出来ました。			・課題 押しが強すぎるプッシュ型広告展開は共感性を求める市ブランディングにとって必ずしも有効とは言えないため、市内外への市ブランド情報拡散方法を検討する必要があります。また、市のブランド基盤の向上とともに、市への転入・定住に対する意識や街への愛着などの「心理的価値」へアプローチしていく必要があります。				
・課題に対する改善点	市のブランド基盤の向上とともに、市への転入・定住に対する意識や街への愛着などの「心理的価値」へアプローチしていく必要があることから、流山市の資源価値を、実際に暮らしている「市民の声」にのせて拡散しました。このことから、流山市ブランディングサイトへの新規訪問者数が22,000アクセスを超えました。							

マーケティング								
流山市ふるさと納税事業		流山市に対する寄附者の思いに対して、魅力ある特産品等を贈呈し、寄附額の増加を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
マーケティング課	40,488		36,200		7,052	18,779	0	18,779
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
返礼品数(件)	117	262	280	寄附件数(件)		1,220	2,058	2,057
返礼品事業者数(件)	15	46	55	寄附額(千円)※個人からの全ての寄附金。		37,188	50,577	50,540
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 本市の魅力と返礼品を合わせてPRするほか、返礼品を提供していただける事業者・返礼品の新規開拓や情報発信など、マーケティングの視点をういながら事業を推進しました。また、返礼品として品物だけに限らず、体験型の返礼品も検討しました。				・現状 返礼品を提供していただける事業者、返礼品の数は増えています。				
・評価 市内産業の活性化、及び寄附額の増加に寄与しました。				・課題 ふるさと納税ポータルサイトの特性に合わせた、返礼品の見せ方の工夫や返礼品の種類を増やすことが必要です。				
・課題に対する改善点 返礼品を提供していただける事業者等及び返礼品の種類を増加させること、また、新たなふるさと納税のポータルサイトの導入を進めるなどにより、流山市の返礼品との接触機会を増やすことが課題であり、事業者・返礼品の新規開拓と新たなポータルサイトを導入した結果、寄附件数、寄附金額を増加させることができました。				・取組 より事業者のこだわりや想いが伝わるよう、事業者を取材し、返礼品の魅力がわかる写真の枚数を増やす、返礼品の種類を工夫するなど、ポータルサイトへの掲載内容を工夫してまいります。				